

多摩桜祭 販売 お知らせ

【販売】

学部	団体	販売内容
I 中	C グループ	ブックカバー、手作りサシェ
I 高	1～3年生	アロマストーン、さくらちゃん香り袋
II 中1年	園芸班・ハンドワーク班・紙工班	おいしい野菜、紙工製品、ハンドワーク製品
II 中2年		
II 高1年	窯業班・紙工・園芸班	小皿、小鉢類、陶芸小物製品、ポチ袋、オリヅルラン
2年	食品加工班・紙工班	マドレーヌ、さくらちゃんコースター
3年	食品加工班・紙工班	パウンドケーキ、さくらちゃんプレート

【受付時間】

28日（金）午前10時00分～

29日（土）午前9時30分～

当日は、名札・スリッパ・下足入れ等を必ずご持参ください。

当日は、公共交通機関での来校をお願いいたします。

多摩桜祭 発表見どころ

【I部門小学部】

グループの学習の様子や、できることや得意なことで活躍し、それぞれの表現で映像にしました。児童の真剣な表情や全力で楽しむ笑顔、一人一人が頑張っている姿が輝いています。友達と力を合わせて演じた動画になっています。ぜひご覧ください。

【II部門中学部1年生】

「雪」と「魔法の世界」をテーマに、誰もが楽しめるゲームコーナを作ります。みんなで作った大きなオラフや魔法のじゅうたん、綺麗な装飾が見どころです。ゲームを楽しんでくれた人には素敵なプレゼントがあるかも・・・！ぜひ遊びに来てください。

【II部門高等部1年生】

一人一人が「今」がんばっていること、目標にしていること、楽しんでいることなどを発表します。また、展示発表の制作の様子や、販売を行う作業製品を制作する作業の様子、その他に、授業の様子を見ていただきます。私たちの「今」を見てください！！

【さくら国際支援隊】

II部門高等部が例年取り組んでいるユニセフ募金。今年は体育館に場所を変え、実施します。
総合的な探求の時間を通して、世界のめぐまれない子供たちについて学び、自分たちができるることを考えました。募金のご協力をお願いします。

【I部門中学部】

中学部のみんなが学校で取り組んでいる個別学習とマジックを融合させた取り組みを発表します。どの様なマジックが繰り広げられるのか？！みんなが楽しく、真剣に取り組んでいる姿をお楽しみください。

【II部門中学部2年生】

「たいやき駅」と「おすし駅」をさくら電鉄が走ります。なんと、さくら電鉄は、今年で終わってしまいます。2年生全員で「さくら電鉄」盛り上げます！駅や歴史を彩る装飾、仕事をしているかっこいい姿が見どころです！「さくら電鉄」の最後の雄姿をご覧ください！

【II部門中学部3年生】

みんなで選んだ「日本の歴史」をテーマに、「江戸麦茶～かたじけない～」という喫茶をオープンします。踊りと麦茶でみなさまをおもてなしします。日本らしい装飾にもご注目ください。

【II部門高等部2年生】

普段の授業風景、音楽発表会の様子、友達と楽しく過ごしている様子などを発表します。一人ひとりが日々の活動で力を發揮し頑張る姿はもちろん、友達と一緒に頑張る姿もまとめました。学年みんなで練習したタオル体操は必見です！生徒たちのキラキラ輝く姿、ぜひご覧ください！

【II部門高等部3年生】

授業で取り組んだ楽器の演奏や歌に合わせた手話的身体表現などを発表します。また、日々の様々な授業の中で取り組んでいる清掃を題材にしたショートムービーも必見です！ぜひご覧ください！



ESD(持続可能な開発のための教育)

○ 令和7年度の本校における ESD の取り組みについて

ESD は Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。

ESD とはこれらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組むことで問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。つまり、ESD は持続可能な社会の創り手を育む教育です。

本校では、令和6年1月にユネスコスクールへの加盟申請を行い、1年間、ESD 推進部と各学部が連携して今までの活動のまとめを行ってきました。それを報告書にし、令和7年1月に、国内審査へ向けての報告書を提出しました。その結果として6月に「ユネスコスクールキャンディート校」への登録がされました。現在、パリのユネスコ本部への報告書の作成及び、提出を行っているところで、来年の1月を目途に審査を行い、審査が通過すると正式にユネスコスクール登録となります。

今年度の本校における ESD の取り組みについて、いくつか紹介いたします。

・工コキヤップ 50 kg回収プロジェクト

I部門小学部では、工コキヤップを回収し、開発途上国にワクチンを贈る活動を行っています。本校の児童・生徒や保護者、教職員に留まらず、交流校や地域の関連機関等に回収箱を設置し、支援の輪を地域へと広げていく活動を展開しています。

① 校内での工コキヤップ回収活動

工コキヤップの回収箱やポスターを作成し、校内に設置しました。また、工コキヤップの洗浄をII部門高等部に依頼し、作業学習の中で洗浄を行っています、このような学部を超えた連携が生まれてきています。

② 地域の施設での回収活動

多摩市の教育センターに回収箱の設置をお願いしました。オンラインを活用しながら児童から発信を行う活動も展開しています。

③ 学校間交流での工コキヤップ回収活動

交流活脳の中で、工コキヤップ回収の依頼を行っています。実際に交流時に集まった工コキヤップを持ってきていただきました。



・児童・生徒向けの ESD フライヤー(チラシ)の作成

本校の ESD の取り組みについて、児童・生徒に分かりやすく伝えるツールとして「児童・生徒向けの ESD フライヤー(チラシ)」の作成を行っています。自分たちの取り組みが、どのような社会貢献につながっているのかを「見える化」し、児童・生徒の今後の ESD の教育活動への意欲を高めていくことをねらいとしています。

ESD フライヤー(作成中)